



学生の就職活動、大卒初期キャリアに関する研究

研究の概要

日本は労働者人口が激減することが予測される今、雇用側が中長期的な視点で若者の職場定着を真剣に見直すときに来ていると考えています。大卒初期キャリアの早期離職は、雇用する側にとって大きなマイナスでもあります。

大卒初期キャリアのアンケート調査と実際の早期離職者インタビューに基づき、学生時代の就職活動時の活動量・満足度と入社前のRJP、入社後のリアリティ・ショックに着目し、現況を把握し課題を整理。特に採用手法が異なるといわれている文系／理系の軸、女性活躍推進法が施行され男女共同参画時代となった今、男性／女性の性差軸で早期離職行動に違いがあるのかどうかについても検証しています。また、近年「採用革新」がみられるといわれており、特に新卒の採用手法として、人材紹介やオファー・スカウト型といわれるものが注目されています。入社エントリー別（従来型、人材紹介型、オファー・スカウト型）、コロナ禍前後入社別で早期離職行動に違いがあるのかどうかについても検証しています。

加えて、和歌山県内大学卒業生等の就職先や県内企業の需要に関する調査研究も行っています。

研究の特徴

例年 350 件程度、現役生・卒業生からのキャリア相談を受けます。毎年多くの学生を教育・支援し、送り出す立場ではありますが、必ず起こるのが就職先のミスマッチです。このミスマッチを極力なくすにはどうすればいいか、にいつも頭を悩ませています。学生が就職活動にどのように取り組めばいいか、学生から社会人への移行期、そして社会人になってからの組織社会化の中でどのようにすれば「職場定着」に繋がるのか、といった研究をしています。この研究の中で、雇用される側、雇用する側双方の視点から大卒初期キャリアの早期離職を極力少なくするにはどうすればいいかを明らかにしたいと考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

採用力アップセミナー／女性リーダー養成講座・女性対象キャリア研修（和歌山県、紀陽銀行、太洋工業）／子育て家族対象ライフキャリア研修（和歌山市）／大学生対象キャリア形成講座（奈良県、大阪府大、大阪市大）

研究者からのメッセージ

インターンシップや産学連携キャリア教育コーディネートをしています。採用コンサルティングの業務経験があり、新卒採用戦略についても相談もお受けしています。キャリアコンサルタント、CDA、でもあります。

研究分野： 職場定着，大卒初期キャリア，新卒採用

研究者の所属部局・職位・氏名： 和歌山大学経済学部 経済学科・准教授・本庄麻美子

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp